

各地幼稚
園だより

三原女子師範學校附屬幼稚園

三原女師附屬幼稚園保姆

山岡幹枝

本園は大正二年三原女子師範學校に附設せられたものであります。三原市の凡そ中央部、櫻山の麓にありまして、前は間近く瀬戸内海を臨み、四季變化に富める自然に圍れた恵まれた環境にあります。

園兒數 七〇名 園長 女子師範學校長 主事 附屬國民學校主事兼任 保姆 二名

保育料 壹圓五拾錢

組編制は二組とし、進學によつて年少組(五・六歳兒)年長組(六・七歳兒)に分け、二年保育制に致して居ります。

保育項目につきましましては、徒らに舊套墨守、與へられたものにのみよるべきでないを信じ、つまらぬ乍らも自分達で保育主題を選択し配列し、

「皇國の道に則つた保育、而も時代と郷土に即した明るく逞しい保育」を行ふ様心掛けて居ります。主題は主として生活層によつて配列致しますがその選擇に當つては次の諸點に留意致して居ります。

一、國民的情操を養ふもの

(國體明徴、敬神崇祖)

一、時局認識に適切なるもの

(銃後後援、皇軍感謝、一致協力、堅忍持久、剛健質朴、物資節約)

一、科學的な生活態度を刷致するもの

(時間勵行、整理整然愛好、頓工夫創造、自然愛好)

一、體位向上に資するもの(心身鍛練、衛生保健、清潔整頓)

一、日本的情操を陶冶するもの(明朗快活、純真素朴、莊嚴重厚)

一、大國民たる品位を養ふもの(公衆道徳容儀姿勢、言語動作)

一、基礎的な技能を修練するもの

一、郷土文化の新建設に資するもの

かゝる見地より選擇した主題を、生活層によりて適當に配列し、幼兒のあそびの擴充、生活のよりよき伸展を期して居ります。

本園に於ては、特に自由主義的色彩、知育偏重の臭味の絶滅を期し、皇國の道に則つて時代と郷土に即した明る

く遅しい教育をなすことを大眼目とし、我國家族制度の本義に基いて園兒の衣食住生活を確立し、更に躰によつて合理的に生活する能力を啓培する様心掛けて居ります。近時國體觀念の培養が叫ばれ又強固な意志力、強力な實踐力の人が要望されて参りました。東亞の指導國家たる我が帝國の將來を擔つて立つべき第二國民の育成に當り、人生の雙葉と言はれる幼兒期なるが故に、國家の一貫せる教育目標に向つて邁進すべきは當然であります。次に本園の實施してゐる保育の一端を申し上げます。

一、登園歸園時に於ける奉安殿の奉拜は保姆と共に皆で揃つて行ひ、一日の報告と御禮を申し上げます。特に奉安殿横からは脱帽無言、門外に出て始めて着帽致します

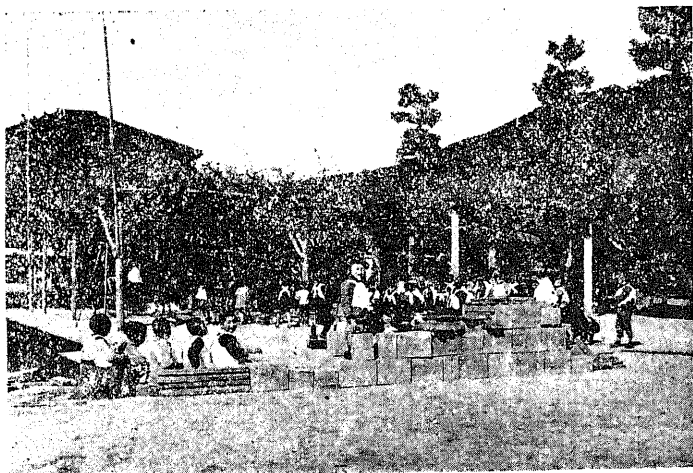
一、會集時の遙拜前にはエプロン洋服の歪曲を正し整髪させ、姿勢を正して後行ふ様注意致して居ります

一、君が代奉唱の態度 幼兒なりとも奉唱の態度は嚴肅なるべきだま信じ實行致して居ります

一、神社参拜 毎月一回は必ず行ひ、尙ほ四大節、事變記念日其他、國家的大祭には必ず参拜致しますが、鳥居よりは一同無言、嚴肅な氣持で神殿にぬかづき二拜二拍子一拜にて心からの祈りを捧げます

一、皇軍への感謝 出征遺家族招待の遊戯會の開催、事變記念日當日戦死者の墓参、出征軍人への慰問袋の發送、

武運長久祈願、食前の感謝の言葉、廢品回收、會集時の時局談話等により常に感謝の生活を送る様注意して居ります



さあさあお乗り

一、強力な身體 従來のラジオ體操がこもする形式に流れ、力ある正しい運動となり難く、幼児に最適でない事を思ひ、之に代へて特殊なる體操を行つて居ります。之は幼児の想像性、模倣性、創造性の活用によるもので、全體を物語的に伸展させ遊びの中に身體各部筋肉の鍛練を行ふ様にし、唯音等にひきづられ音律にのるのでなく、話合ひの形式による遊びの中にも各個各部分に留意して補正しつゝ行つて居ります。時には唱歌遊戲に進展する場合も生じ、「遊びか體操か體操か遊びか」幼児はボンヤリ愉快に過す中に目的の筋肉活動は充分に出來て参ります。又自然を友とし一週に一回は必ず園外保育を致し、鐵砲かついだ兵隊ごつこも自然の山野を背景に思ふ存分くりひろげられ、少しの傷は平氣、石垣でも崖でも力限り攀登、女兒も看護婦となりて從軍、自然のクリークも決然渡河、環境を利用したよりよき體鍛道場は四季常に幼児を喜ばしてくれます。又大東亞戰爭勃發は幼児にも深い感銘を與へ、團體的遊びも年長兒の誘導を得て繼續されて参り、走高飛、繩飛、飛箱、綱引き遊び等きまりを守つて楽しく遊ばれて居ります。「來た順番」にて先を爭ふ事もなく、「強い子供は風の中」にて園庭をはね廻つて次から次へ遊びを續けて居ります。以上保育のほんの一端を列舉致しましたが、最後に本園が特に努力して

ゐます家庭との連絡について方法の一部を申し上げます。何ぞ申しましても、幼兒生活に於て時間的にその大半をしめるものは、家庭であり、家庭教育の補導こそ幼稚園保育と共に考慮されなければならぬ事項だぞ存じます。幼稚園の綿密周到なる計畫と取扱ひは家庭の援助を得て始めて幼兒生活の全き指導となり、社會人としての幼兒の育成に裨益しうるものぞ考へます。殊に幼稚園保育の家庭教育を補ふにあるを思ふ時、その保育内容が家庭及び郷土と遊離しない様留意するは勿論、積極的に幼稚園保育の中に家庭教育を接收し、家庭を指導し協力せしめる様努むべきだぞ存じまして先づ第一に母の會を設置し、毎月一回の參集日には保育參觀を行つた後、幼兒の性行、健康問題、容儀服裝等につき懇談致し保育の新しい出發點も致して居ります。又時には母のための講習會等も開催し、祝日用料理、榮養料理、間食、教育問題等について研究致して居りますが、お母様方からの秘訣料理の公開もあり、互ひに喜ばれてゐます。尙、夏休み以來は、母姉に依頼致しまして生活カレンダーの記入を續けて居ります。左記の様な表を配布致しまして、母子一體となつて生活の向上に心掛けていたゞいて居ります。が、子供は勿論、家庭全體の寮園氣を變化することも生じ非常に重寶がられて居ります。殊に「お母さまメモ」に

